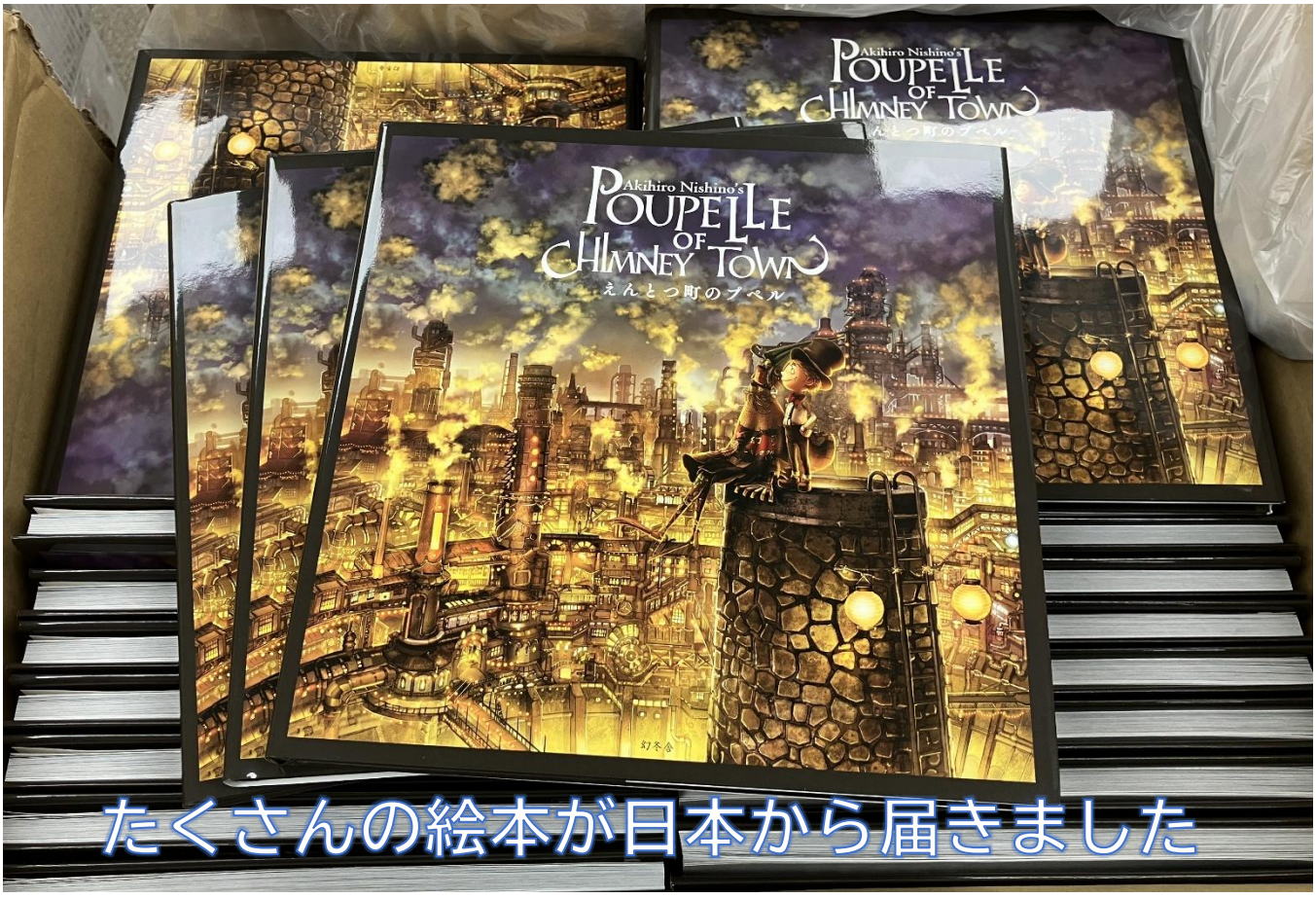
ニューヨーク補習授業校だより

架け橋

令和６年（2024年）12月６日　　第28号　　校長　小島　昇

全児童・生徒に絵本「えんとつ町のプペル」寄贈

12月に入り一日の中で暗い時間が多い季節になりましたが、街は明るく賑やかになってきているように感じます。そんなホリデーシーズンを迎えたニューヨーク補習授業校に日本から嬉しいギフトが届きました。児童・生徒約600人全員に一人一冊の絵本「えんとつ町のプペル」のプレゼントです。手に取っていただくとすぐにわかりますが、しっかりとしたつくりの素敵な絵本です。本文は日本語と英語で書かれていて、大人でも楽しめます。



絵本「えんとつ町のプペル」は、漫才コンビ・キングコングの西野亮廣さんの作品です。西野さんが創業された株式会社CHIMNY TOWNでは、「こどもギフト」プロジェクトを実施しており、今回、ニューヨーク日本人教育審議会が設置する４校の子どもたちに絵本を寄贈してくださることになりました。

12月7日の授業日に、子どもたちに絵本を渡します。絵本の寄贈についてのCHIMNY TOWNからのお手紙も一緒に配りますので、詳しくはお手紙をご覧ください。

LI校高等部2年と幼児部の交流

高等部２年の生徒たちが幼児部を訪問して交流会を実施しました。幼児部の子どもたちに伝わる言葉を選び、ドラえもんの寸劇を披露した生徒たち、それを笑顔で参観した幼児たち、どちらにとっても学びのある企画となりました。幼児部年中から高等部２年までが同じ校舎で生活し、学ぶ補習校だからこそ実現できる学びの機会をこれからも大切にしていきたいと思います。



W 校初等部の学習の成果

Ｗ校初等部５年生のあるクラスでは、国語「よりよい学校生活のために」の学習で、グループごとに案を考え、スライドにまとめて校長に提案しました。そして、提案をもとに校長と話し合いました。

提案　イベントをもっと多くする。

理由

① 息ぬきができて、勉強がはかどる。

② 運動会のようなイベントがあると、子供達のモチベーションが高まる。

③ 補習校に通っていない人に、補習校が、勉強だけではなく子供達が楽しめる場所であると知ってもらえる。

（補習校に対するネガティブな気持ちや発想がなくなる。）

④ 楽しいことがあれば、もっと補習校に行きたくなる。

⑤ チームワークができる。

４年生のあるクラスでは、国語「工芸品の魅力を伝えよう」の学習でリーフレットを作成しました。初め・中・終わりの構成で、読む人にとってわかりやすい文章を書き、さらに説明文にあった写真を選んで魅力ある作品づくりができました。

週に１日の授業日ですが、限られた時間の中でも着実に子どもたちは学んでいます。

